

令和5年度研究成果に関する外部有識者意見聴取の結果について

令和6年（2024年）4月10日
山口県農林総合技術センター

1 目的

研究成果の公表にあたり、現場での活用可能性、新規性、フォローアップや確認試験の必要性について外部有識者から幅広い視点や専門的な観点から意見を聴き、意見を踏まえた対応方向等今後の研究開発に活かす。

2 対象課題

令和5年度にセンター内部の完了評価を受けた単県研究課題

3 外部有識者の選定

1課題4名の外部有識者を次の①～④の区分から1名ずつ選定し、別添の調査票により令和6年2月に意見を聴取した。

- ① 学識経験者：国立大学法人 山口大学、公立大学法人 山口県立大学
- ② 他の研究機関：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
- ③ 農業関係団体：山口県農業協同組合、山口県森林組合連合会
公益財団法人やまぐち農林振興公社、公益社団法人 山口県畜産振興協会
- ④ 消費者団体：山口県地域消費者団体連絡協議会

4 結果

No.	課題名	総合評価※ ²	評価内訳※ ¹ (人)		
			A	B	C
R05-01	夏期の異常高温に対応した畑ワサビ育苗技術の確立	一定の成果が得られた	1	3	0
R05-02	クリシギゾウムシの蒸熱処理による防除技術の開発	十分な成果が得られた	3	1	0
R05-03	主伐に対応した新たな低コスト作業システムの確立	一定の成果が得られた	0	4	0
R05-04	実生コンテナ苗の育苗期間短縮技術の開発	一定の成果が得られた	0	4	0
R05-05	集落営農法人就業者が農閑期に所得を確保する手法の検証	一定の成果が得られた	2	1	1
R05-06	アライグマ・ヌートリアの被害対策技術の向上	一定の成果が得られた	2	2	0
R05-07	長州「黒かしわ」の品質を保持する貯蔵方法及び加工方法の研究	十分な成果が得られた	3	1	0
R05-08	リモートセンシングデータを活用した効率的な飼料作物の生産技術の確立と放牧地草量推定法の検討	成果が得られなかった	0	0	4
R05-09	山口型放牧における放牧牛の省力的看視技術の開発	一定の成果が得られた	1	3	0

※1 評価基準

- A：山口県の生産・流通・加工等の生産現場で活用可能性が高い。
- B：生産現場での確認等の普及支援を行うことにより現場で活用が可能。
- C：追試や確認試験が不可欠・現場で活用可能性が低い。

※2 総合評価

- Aが過半数の場合：十分な成果が得られた。
- AとBを合計が過半数：一定の成果が得られた。
- 上記以外：成果が得られなかった。

(別添)